クッキングヒータ用調理器具のＳＧ基準を改正しました

２０１４年７月１日
一般財団法人製品安全協会

このたび、当協会では 3kw クッキングヒータ用調理器の普及に伴い、SG 基準を改正しました。

この改正では、適応範囲の拡大と底の平面性の基準及び表示及び取扱説明書の一部を見直ししました。

１．基準の改正内容等について

①「適応範囲」において、クッキングヒータに使用する調理器具の有効底面積の長径部分を「260㎜」から「280㎜」に改正しました。

②「底の平面性」の基準（天ぷら用を除く）を冷えた状態での内側への湾曲と加熱した状態での内側への湾曲率％（パーセンテージ）を湾曲量に変更し、規定値も改正しました。

③使用実態を勘案して空だきや長時間の保存等に関して改正しました。

④3kw 確認用標準検査器を使用します。

２．認証受付開始

2014 年 7 月 1 日（火）～

クッキングヒータ用調理器具の安全性の確保・向上のために是非とも SG マーク制度をご活用下さい。

【問い合わせ】
一般財団法人製品安全協会
業務グループ（担当：永田）
TEL:03-5808-3302
FAX:03-5808-3305
E-Mail:t-nagata@sg-assn.org